

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	西川 千雅 先生 (日本舞踊の達人)	所属	日本舞踊 西川流
実 施 校	東郷町立高嶺小学校		
実 施 日	平成21年11月9日 (月曜日)		
実施学年・学級	6年 (80人)		
教科等名	総合的な学習の時間	単元・題材名	日本の伝統文化に触れる
授業の目標	達人の踊りを鑑賞したり、江戸の日本人の動き方や簡単な日本舞踊を体験したりすることを通して、日本の伝統文化への興味・関心を高める。		
授業の実際	 1 達人の紹介を聞く。(教師) 2 日本舞踊の作法やその意義を知る。(達人) ・ 正しい正座やあいさつの仕方を知り、練習する。 3 江戸時代の人々の歩き方を知る。(達人) 4 和のフィットネス「N.O.S.S.」を体験する。(達人・教師) ・ 全体指導 (達人)、児童の中を回り個別指導 (教師) ① 「N.O.S.S.」を達人の動きを見ながら真似をする。 ② 「N.O.S.S.」の動きをいくつかに分けて、少しずつ練習する。 ③ 「N.O.S.S.」を通して踊る。 5 達人の芸に触れる。(達人) ・ 西川先生の長唄「七福神」の舞を鑑賞する。 6 達人に質問をする。(達人) ・ 日本舞踊を始めたきっかけは何だったのか。 ・ 舞っている時、何を考えているのか。 7 日本舞踊に触れて感じたことや考えたことを発表する。(教師)		
児童生徒の感想	・ いろいろな踊りの振りに意味があることを初めて知った。 ・ 日本舞踊は、すごく難しそうに見えたが、やってみたらすごくおもしろかった。 ・ 踊りはゆっくりとした動きなのに、意外に難しかった。 ・ 達人はとても軽やかに動いて踊れるのすごかった。 ・ 踊りなのにけっこう汗をかいだ。運動になっていると思った。 ・ 中学になったら、日本舞踊や作法を習いたいと思っていたが、その気持ちが強くなった。きれいな動きをしたい。 ・ 達人のお話から、子どものころは嫌だと思ってもがんばってやっておくと、大人になって良かったと思うことがあるのだということが分かった。		
教師の感想	すばらしい芸術を生で目の当たりにする体験は、何事にも変えられない貴重なものであった。日常からかけ離れた文化に接したが、姿勢を正すこと、あいさつの形など、日々につながるものも多かった。奥の深い日本舞踊を分かりやすく、児童のレベルに合わせて指導していただき、ありがたかった。		